

## 外部アドバイス（H23年度）を踏まえた取組み

- (1) 適用範囲 大阪府庁環境マニュアルの適用範囲を対象とする。
- (2) 実施日 平成24年3月16日（水）
- (3) 外部アドバイザー職・氏名  
NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会 副理事長 宇田 吉明氏
- (4) 外部アドバイス実施内容
  - ① システムの実施・維持についての改善アドバイス
  - ② パフォーマンスについての改善アドバイス
- (5) アドバイスの概要

### ■ 【ふちようエコ課計簿について】

四半期ごとの実績が、当初設定した目標に対しどの程度になっているか、現状では確認できないので一目でわかるような仕組みに改善してはどうか。

- ⇒ 目標に対する現在の使用状況を表す%表示を自動表示するように改善しました。  
また、所属での評価の参考とするため、前期部分は50%~70%で黄色、70%を超えると赤色に変わるように改善しました。

### ■ 【内部環境監査について】

環境法令のチェックリストのようなものを活用し、監査で確認していくなどしてはどうか。

- ⇒ 環境法令を含めたチェックリストの作成を検討し、今後、内部監査で活用していきます。

### ■ 【本来業務に関する環境活動について】

環境保全などのテーマを設定すべきではないか。

- ⇒ 府庁の全所属を対象とした本来業務に係る環境活動については、「豊かな環境の保全及び創造に関して講じようとする施策」及び「講じた施策」等で把握し、PDCA 管理を実施していることから、環境マネジメントシステム事務局が活用し、全庁的な本来業務のPDCA 管理することにしました。

### ■ 【節電対策について】

更なる節電への提案として、最大需用電力が把握できる施設で最大需用電力を下げる目標を設定してはどうか。

- ⇒ 最大需用電力の把握ができない庁舎もあるため、平成24年度大阪府庁夏の節電実行方針では、電力ピーク時の最大需用電力の抑制を図ることを目標とし、昼休み時間のシフトの実施、コピー、シュレッター等電気使用機器の電力ピーク時の使用禁止、パソコン使用が不要な会議等を電力ピーク時に設定するなど行いました。